

## 2020年度(令和2年度) 県内温室効果ガス排出量

2020年度(令和2年度)における県内の温室効果ガス総排出量は、前年度比で3.4%減少、基準年度(2013年度(平成25年度))比で28.2%減少していました。

なお、温室効果ガス排出量の約90%を占める「エネルギー起源二酸化炭素排出量」の各部門での排出状況は以下のとおりです。

### 【産業部門】

電力の二酸化炭素排出係数が上昇(R1, 0.318⇒R2, 0.350(単位:kg-CO<sub>2</sub>/kWh))したことにより、二酸化炭素排出量は前年度に比べ、4.6%増。なお、基準年度(H25)比では34.2%減。

### 【民生家庭部門】

電力の二酸化炭素排出係数が上昇したこと、都市ガスの使用量の増加に伴い、二酸化炭素排出量は前年度比で0.6%増。なお、基準年度(H25)比では32.5%減。

### 【民生業務部門】

電力、都市ガス及びLPガスの使用量が前年度より減少したため、二酸化炭素排出量は前年比で7.7%減。なお、基準年度(H25)比では37.6%減。

### 【運輸部門】

軽油の使用量が前年度より増加したものの、ガソリン及びLPガスの使用量が前年度より減少したことに伴い、二酸化炭素排出量は前年度比で8.9%減。なお、基準年度(H25)比では24.5%減。

### 県内温室効果ガス排出量

(単位:万t-CO<sub>2</sub>)

区分	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度			
	H25(基準年度)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	構成比	前年度比	基準年度比
<b>温室効果ガス排出量 合計</b>	783	786	732	767	693	610	582	562	100%	-3.4%	-28.2%
二酸化炭素	743	745	690	723	649	565	536	516	91.7%	-3.8%	-30.6%
エネルギー起源	717	719	665	698	624	540	511	491	87.4%	-3.9%	-31.5%
産業部門	115	117	103	112	89	78	73	76	15.4%	4.6%	-34.2%
民生家庭部門	230	232	212	224	204	153	154	155	(※)31.6%	0.6%	-32.5%
民生業務部門	156	163	153	159	137	119	106	98	(※)19.9%	-7.7%	-37.6%
運輸部門	215	207	196	202	194	190	178	162	33.1%	-8.9%	-24.5%
非エネルギー起源	25.8	26.0	25.4	25.2	25.1	24.8	24.9	24.4	4.3%	-1.8%	-5.5%
メタン	8.5	7.9	8.3	7.9	7.8	7.5	7.1	7.2	1.3%	1.1%	-15.6%
一酸化二窒素	7.2	6.6	6.2	6.4	6.0	5.9	5.9	5.8	1.0%	-2.3%	-18.9%
HFC等4ガス	24.3	25.9	27.2	29.3	30.8	31.6	32.9	33.4	5.9%	1.5%	37.3%

(注)森林吸収量を除く。また合計及び比率は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

(※)当該欄の構成比は、エネルギー起源二酸化炭素排出量に対する各部門の排出割合を表しています。

